**インストールと使用説明書**

OT Assessment Package(OTAP) チュートリアル

Software tutorial for AMPS, School AMPS, and ESI

**概要**

**このガイドについて**

OTAP（the Occupational Therapy Assessment Package）は、CIOTS（the Center for Innovative OT Solutions）が開発した全ての作業療法評価のための新しいコンピューターソフトです。ガイドは新しいソフトウェアの使い方を説明したものです。

あなたは、ソフトウェアを使う前にこのガイドを読むか、ソフトウェアを使って特定の機能について疑問を持った時に答えを見つけることができます。

**しかし、「OTAPソフトウェアのインストール」と「ユーザーアカウントの登録」の章については、始めにソフトウェアを使う前に必ず読むことを強くお勧めします。**これらの章はソフトウェアを使い始めることについて重要な情報が書いてあります。

**OTAPソフトウェアについて**

OTAPソフトウェアは、データ管理とAMPS,　School AMPS, ESIの採点ソフトウェアです。これらの評価を学んで認定された作業療法士は、OTAPソフトウェアを使ってデータを入力しレポートを出します。OTAPソフトウェアは、Javaを基本にしてWindows, Macintosh, Linuxで使用できるようにデザインされています。OTAPソフトウェアは、それぞれの評価の最新の研究と発展を合体させ、データのセキュリティを高めています。レポートも、再構成されました。

**データのセキュリティ**

CIOTSは、紛失や認められないアクセスからOTAPソフトウェアのデータを守ることを優先している。地域と国際的な患者のプライバシーの権利とデータの管理の規制は、変化している。したがって、OTAPソフトウェアは、堅牢なデータ管理の土台と現在と未来の基準に従った情報セキュリティ責任者（ISO）とIT管理者に可能にさせる選択的セキュリティの特徴をデザインしている。すなわち、データの暗号化のような、いくつかのデータ管理の特徴は、最低限のパスワードの質を必要とし、アクティビティログは全ての評価者のためにOTAPソフトウェアで作られる。加えて、選択的セキュリティの特徴はデータを守ることを可能にさせるだろう。

**匿名モード（Anonymous Mode）**

　OTAPソフトウェアを初めて開く時、匿名モードで使用するかどうか選ばなければならない。匿名モードを選ぶことは、プログラムを使用する全ての評価者が影響され、**選び直せない**。匿名モードで利用する時、評価者はクライアントの名前、事業所番号、政府発行の識別コードを入力できない。匿名モードでは、OTAPソフトウェアに入力するデータは、性別、誕生日、疾患カテゴリー、観察課題、採点、全体の遂行の質に制限される。OTAPソフトウェアはそれぞれのクライエントに対してOTAP ID番号を割り当てるため、評価者はそれぞれのクライアントのOTAP ID番号を追跡できるように注意しなければならない。

**暗号化のデータベースと場所**

　OTAPソフトウェアでデータを入力することは暗号化され所有権のデータベースの構造に保管される。初期設定で、データベースの場所はOTAPソフトウェアのプログラムファイルと同じところにインストールされる。データベースの場所は、IT管理者のニーズ、優先、規定を基に異なったローカルもしくはネットワークの場所に移されるかもしれない。ISOやIT管理者は全ての評価者のためにデータベースを移すことを許可するCIOTS（info@innovativeOTsolutions.com）から管理者ライセンスキーを得るだろう。管理者ライセンスキーは、患者データを入力することや見ることを管理者に許可しない。個々の評価者のデータはバックアップされ、確保された場所に保管される。バックアップデータは暗号化され、バックアップをした評価者によってのみOTAPソフトウェアにインポートされる。

**パスワード**

 OTAPソフトウェアをインストールした後、評価者はCIOTSから割り当てられたソフトウェアライセンスキーを登録しなければならない。登録時、評価者はログイン名を入力し、個別の秘密のパスワードを作らなければならない。パスワードは、以下の要求を満たさなければならない；

・最低8文字

・一つの小文字

・一つの大文字

・一つの数字

・一つの記号：

　！＠＃＄％＾＆（）＼／，．－＿+＝｜

　データセキュリティ規定の基礎として、ISOかIT管理者は全ての評価者にOTAPソフトウェアのパスワードを定期的に変えることを要求するだろう。OTAPソフトウェアは、このパスワード変更要求の設定を変更するたびに記録する（「**出来事の記録**」を参照）。

　データを入力するかレポートを出すためにプログラムにアクセスすることは、評価者に正しいログイン名とパスワードの組み合わせを求める。間違ったパスワードで3回ログインの試みをした評価者は、プログラムから1時間締め出される。締め出されたことは、プログラムに記録される。

　そのような評価者の不幸な状況では、パスワードを思い出させることができず、パスワードは、新しいOTAPソフトウェアライセンスキーを得ることによって、リセットされるだろう。パスワードのリセットは、プログラムに記録される。

**出来事の記録**

 OTAPソフトウェアは、機密の患者情報を傷つけることなしにISOとIT管理者に権限を与えるようにデザインしている。すなわち、OTAPソフトウェアは、関心のある出来事の経過を記録する。経過は、削除したり編集できないが、閲覧したり印刷することはできる。その情報は、出来事に関わったログイン名、日時、簡単な要約を含めた出来事の経過を表示する。出来事は、新しい管理者登録、新しい評価者登録、ログイン名の変更、パスワードの変更、パスワード変更要求設定のアップデート、プログラムからの締め出し、データの出力、データベースの移動を含むことを、OTAPソフトウェアによって記録される。経過の閲覧は、プログラムメニューの“File”＞”View Activity Log“で行う。

**OTAPソフトウェアのインストール**

　OTAPソフトウェアは、独自のデータベースを使うこととJavaの技術を基に構築されている。それはインターネットや他のデータベースと直接やり取りできない。それは、ハードディスク、USBメモリー、ネットワークの“シェア”フォルダーにインストールすることができる。

**OTAPソフトウェアの要求するシステム**

・現在のオペレーティングシステム：

　〇Windows8（desktop mode）；Windows7、Vista、or XP（SP3）；Windows Server2012 or 2008

　〇Mac OSX 10.7.3 or later

　〇Ubuntu 10.04 or later、Linux5.5+、Suse Linux Enterprise Server 10 SP2、11.x

・Java（update 45 or later）が必要。Javaの最新版は、<http://www.java.com>からダウンロードできる。

・アドビのPDF reader（[www.adobe.com](http://www.adobe.com)）が、レポートを閲覧したり印刷するのに必要。

・OTAPソフトウェアは、評価者がデータを保存する許可ができる場所でインストールしなければならない。場所の許可について、コンピューターもしくはネットワーク管理者に交渉する。

**Windowsユーザーへ。**全般的にウィンドウズコンピューターは、WindowsフォルダーやProgram Filesフォルダーのような場所にデータを保存することができない。OTAPソフトウェアはマイドキュメントフォルダーや評価者がいつもファイルを保存している別の場所が望ましい。

**インストールの手順**

1. もし、Javaがコンピューターにインストールされていなければ、http://www.java.comからインストールする（Javaのインストーラーが、Javaの最新版が既にインストールされているかチェックするだろう）。
2. http//www.innovativeotsolutions.com/conyrny/otap-software/install-otap-software/から“otap.zip”をダウンロード（そして保存）。
3. “otap.zip”ファイルを開く。
4. “otap”フォルダーをコピーして、インストールしたいところに貼り付け（例：マイドキュメント、アプリケーション）
5. “otap”フォルダーを開いて、“otap.jar”をダブルクリックしてプログラムを起動。

**Macユーザーへ。**OTAPソフトウェアをMacで初めて使う時、評価者はControlキーを押しながら“otap.jar”ファイルをクリックしなければならない。2回目以降はOTAPソフトウェアの起動するときに、Controlキーを使う必要はない。

1. 以下のどちらかでOTAPソフトウェアのデータベースの設定をする
2. **選択肢1**：OTAPソフトウェアの新たなデータベースを作るとき“New”をクリック

ⅰ．新しいOTAPソフトウェアデータベースを作るところを選択：

1. プログラムをインストールしたフォルダーにOTAPソフトウェアデータベースを作るとき“Default”をクリックする。
2. OTAPソフトウェアデータベースを自分で場所を選ぶとき“Searchをクリックする。

**注：**もしOTAPソフトウェアデータベースの場所をDefaultにしない場合、評価者はデータを保存できる場所を確認する。

　　　　ⅱ．匿名モードでOTAPソフトウェアを使うかどうか選択（詳しい内容は「**データのセキュリティ**」を参照）

1. **選択肢2：**現存のOTAPソフトウェアデータベースにつなげるとき“Search”をクリックする。
2. “otap.jar”ファイルのショートカットやエイリアスを作る。

**Windows**：“otap.jar”を右クリックして“ショートカットの作成”を選ぶ。

**Mac**：Controlキーを押しながら“otap.jar”をクリックして、“エイリアスの作成”を選ぶ。

1. デスクトップに新しいショートカットかエイリアスをドラックする。

**ユーザーアカウントの登録**

1. 登録講習会かアップグレードの発注から受け取ったOTAPライセンスキーを含むEメールを開く。
2. OTAPライセンスキーをコピーする。
3. OTAPソフトウェアを開いて、“File”＞“Register”をクリックする。
4. テキストボックスにOTAPライセンスキーを貼り付けて、“Enter”を選ぶ。

**Macユーザーへ。**Controlキーを押しながら、“v”を押す（Commandキーではない）。

1. 評価者の情報とパスワードを入力する。ログイン名は評価者名から割り当てられる。
2. しばらく経って再ログインする時にプログラムメニューの“File”＞“Log In”を選んで、ログイン名とパスワードを入力する。
3. ライセンスをアップデートするかOTAPソフトウェアの新しい評価法を解放する時、新しいOTAPライセンスキーを手に入れて、上記1と2のステップを繰り返す。その時のOTAPソフトウェアの記録は、ログインした後で“File”＞“Update License”を選択し、テキストボックスに新しいライセンスキーを入力する。

**注．**ライセンスキーは、COReで確認することができる（詳しいことは「**ヒントとショートカット**」を参照）。

**データの入力**

**クライエントのデータ入力**

1. OTAPソフトウェアにログインする。
2. “Edit”＞“Add New Person”を選択する。
3. クライエントの情報を入力する。クライエントの名前（匿名モードではないときのみ）と誕生日を入力する。
4. “Informed consent has been obtained”のチェックボックスは、認定評価者になるために提出するクライエントの評価データを入力する前にチェックされなければならない。このボックスをチェックすることは、あなたが、CIOTSと匿名で評価データを共有することをクライエントから言葉か文書で許可を得たということを示す。あなたが認定評価のためにCIOTSにデータを送る時、全く個人を特定できない情報が、出力したデータファイルに含まれる。
5. クライエントについて全ての情報を入力して保存するときに“Save”を選ぶ。

クライエントのデータを全て変更して捨てるときに“Cancel”を選ぶ。

データベースからクライエントを抹消するときに“Delete”を選ぶ。

1. もしあなたが、しばらくしてクライエントの情報を編集したいとき：
2. メインウィンドウのクライエントリストのクライエントの名前かOTAP ID番号をクリックする。
3. “Edit”＞“Edit Selected Person”を選択する。

**評価データの入力**

1. OTAPソフトウェアにログインする。
2. メインウィンドウのクライアントリストのなかで評価を加えたいクライアントの名前かOTAP ID番号をクリックする。
3. プログラムメニューの“Edit”＞“Add New Evaluation”＞“(AMPSかSchool AMPSかESI)Evaluation”を選ぶ。
4. 評価情報を入力。異なったデータのまとまりを入力するタブが上にある。
5. 評価データは、レポートを出力するか印刷する前に完成させなければならない。あなたは、評価データを完成させるために以下のことを入力する：
6. 評価日
7. 評価したときのクライエントの疾患
8. 少なくとも２課題
9. （AMPSのみ）機能レベルの評定。（School AMPSのみ）教室環境の評定。
10. クライエントの全体の遂行の質を要約した全体のベースラインの文書
11. この評価について入力した全てのデータを保存するときに“Save”を選ぶ。

評価データを変更して捨てるときにCancel”を選ぶ。

データベースから保存した評価を削除するときに“Delete”を選ぶ。

1. もし、しばらくして評価のデータを編集したいとしたら：
2. メインウィンドウのクライエントリストの中のクライエントの名前かOTAP ID番号をクリックする。
3. 編集したい評価データをクリックする。
4. “Edit”＞“Edit Selected Evaluation”を選択する。

**アカウント設定**

　アカウント設定を編集するときに“Edit”＞“Preferences”を選択する。

**Date format:**

　どのように年月日を入力し表示するか。

**Sort people by**

　メインウィンドウで、どのようにクライエントリストをソートするか。

**Language for text in reports**

　作られるレポートの言語。全ての言語はサポートされていない。もし、レポートが選べる言語で翻訳できないとしたら、英語で作られる。

**Language for names in reports**

　もし、クライエントの名前が、西欧の言語に見つけられないものに含まれるとしたら、名前はレポートに正しく表示されないだろう。選択した言語設定と国際的な名前を正しく表示することをサポートするフォントを載せるために、この設定を使う。

**Reset password every＿days**

　あなたがパスワードを変更した最後の時から指定日数を経過した後、プログラムは再びログインする前に、パスワードを変更することを求める。これは、ユーザーアカウントを安全に保つ助けとなるセキュリティの特徴を用いている。

プログラムファイルの場所は、変更できる。**あなたが、システム管理者かプログラムファイルを移動する理由を持たない限り変更しない。**これは、全てのユーザーのファイルの場所に影響する。

**講習会での採点**

1．“Course Scoring”＞“(AMPSかSchool AMPSかESI)”を選ぶ。

2．講習会で採点した人の名前をクリックする。

3．全ての採点を入力して、“Enter”を選ぶ。

4．上記2と3のステップを繰り返して、採点の入力を完了する。

5．入力した採点を保存するときに“Save”を選ぶ。

　“Save”を選んだ最後のときから変更して捨てるときに“Cancel”を選ぶ。

　この評価で保存した全ての採点を削除するときに“Clear”を選ぶ。

**注．**“Course Scoring”は、認定評価者になるプロセスでのみ使われる。

**データの出力**

　データを出力するために“File”＞“Export”＞“（いずれかを選択）”＞“(AMPSかSchool AMPSかESI)”を選ぶ。

**OTAP Software Backup：**

　ユーザーアカウントの全てのデータは、zipファイルに暗号化され保管されている。あなたは、定期的にOTAPソフトウェアのデータをバックアップするためにこれを使うべきである。zipファイルは、自身のOTAPソフトウェアのユーザーアカウントで読み込むことができるように作られる。

**Calibration Date：**

　データは、認定評価者になるために出力される。クライエントの情報ウィンドウで“Informed consent has been obtained”のチェックがされていて、評価データが完成しているとしたら、クライエントの評価データだけが出力される（「**Entering Date**」参照）。

**Revalidation Data：**

　データは、評価者の妥当性再確認のために出力される。クライエントの情報ウィンドウで“Informed consent has been obtained”のチェックがされていて、評価データが完成しているとしたら、クライエントの評価データだけが出力される（「**Entering Date**」参照）。

**Selected Person’s Date**

　メインウィンドウのクライエントリストの中で選ばれたクライエントのデータだけが出力される。あなたは、出力するための評価を選び、自身の記録の保存で使われる出力データでクライエントにカスタムIDを割り当てることができる。

**All Date To CSV File：**

　あなたのユーザーアカウントで保存された全てのデータは、CSVファイルとして出力される。これらのファイルは、MicrosoftのExcel、SPSS、その他のCSVファイルを読み込むサポートのあるデータ管理プログラムで、読み込むことができる。

MicrosoftのExcelでCVSファイルを開く：

1. Excelを開く。
2. “データ”＞“テキストファイル”をクリックする。
3. “(AMPSかSchool AMPSかESI)Data.csv”ファイルを読み込む。
4. “区切り位置”を選ぶ。
5. “元のファイル：65001:Unicode（UTF-8）”を選ぶ。
6. “次へ”をクリックする。
7. “タブ”をチェックしないで、“カンマ”をチェックする。
8. “次へ”をクリックする。
9. “完了”をクリックする。
10. “新規のワークシート”をクリックする。

**データの読み込み**

“File”＞“Import”＞“（どちらかを選択）”して、データを読み込む。

**OTAP Software Backup：**

OTAPソフトウェアのバックアップ出力によって作られたzipファイルのデータは（「**Exporting Data**」を参照）、あなたのユーザーアカウントで読み込むことができる。OTAPソフトウェアのバックアップデータは、zipファイルを作った評価者によってのみ読み込まれる。つまり、ある評価者が他の評価者の属性のデータを読み込めない。

**Old Software Backup：**

　以下のソフトウェアから出力されたデータは、OTAPソフトウェアで読み込むことができる。

* AMPS9かAMPS2005
* School AMPS 2005
* ESI 2009

これらのソフトウェアは、正しく読み込むことを保証できない。あなたは、データを読み込むのにトランスファーキーを必要とする。トランスファーキーの入手は：

1. インターネットブラウザを開いて、COReにログインする：http://www.innovativeotsolutions.com/CORe/
2. “Retrieve (AMPSかSchool AMPSかESI)Software Codes”をクリックする。
3. トランスファーキーをコピーする。

　これらのソフトウェアからデータを読み込むときに、データがバックアップされたフォルダーを選ぶ。

　もし、匿名モードでOTAPソフトウェアをインストールした中にデータを読み込むならば、クライエントの名前は読み込まれない。その代わりに、それぞれのクライエントは、連続したOTAP ID番号を割り当てられる。クライエントを読み込むリストとOTAP ID番号を示される。この時に、これらの番号を控える。クライエントを読み込むリストを印刷する選択肢がある。

**注．** OTAPソフトウェアは、以前のソフトウェアの中に無かった全体のベースラインの文書のようなデータを求める。データが欠けているクライエントや評価は、メインウィンドウで赤く表示される。クライアントの測定値やレポートを出すときに、もしくは、認定評価者になるために読み込まれたデータは、欠けたデータに加える必要がある。

**レポートの出力**

1. メインウィンドウで評価を選ぶ。
2. プログラムメニューから“Reports”＞“（レポートの種類）”を選ぶ。
3. レポートを保存する場所を選び、“Save”をクリックする。
4. PDFでレポートを開く。

**Report Supplement**

　基準準拠と標準値準拠の視点から評価結果の解釈のための全般的なガイドライン。

**Results Report\*†**

　特定のクライエントの評価結果の分析と要約

**Progress Report\*†**

特定のクライエントの２つの評価結果の要約に加え、1回目と2回目の評価で測定値がどのぐらい意味ある変化をしたかという説明。1回目と2回目の評価で異なった評価者が実施した場合にプログレスレポートをだすとき、メインウィンドウで1つの評価を選ぶ。“Reports”＞“Progress Report”をクリックする。あなたは、評価日、測定値、他の評価者が評価した課題を入力することを促される。

**Raw Scores Report\***

　観察した全ての課題について、技能項目の難易度によってソートされたクライエントの採点リスト。

\*評価はこのレポートを出力するために、完了しなければならない。

†このレポートを出力するために、認定評価者である必要がある。

**ヒントとショートカット**

**キーボードの使用**

　OTAPソフトウェアのほとんどのウィンドウは、データを入力する欄を移動するためにキーボードを使えるようにデザインされている。

Tab：　　　データを入力する次の欄に移動

Shift+Tab：データを入力する前の欄に戻る

Enter：　　ウィンドウのボタン（青）を作動する

Space：　　ウィンドウに焦点があるボタンを作動させる

矢印キー：ドロップダウンメニュで項目を上下する

**右クリックメニュー**

　メインウィンドウの中で、クライエント情報や評価日が表示されるボックスは、右クリックでポップアップメニューを開くことができる。このメニューは、プログラムメニューのショートカットとして使える。

**新しいOTAPライセンスキー**

　OTAPソフトウェアのいくつかの特徴として、新しいOTAPライセンスキーを入力すること求める。ソフトウェアのセキュリティの特徴は、あなたが入力した全てのライセンスキーの経過を保存し、同じライセンスキーを2度入力しても無効とならない。もし、あなたが新しいライセンスキーを必要とするなら、COReは以下のステップのように新しいライセンスキーを発行する：

1. インターネットブラウザを開いて、COReにログインする：<http://www.innovativeotsolutions.com/CORe/>
2. “Retrieve（AMPSかSchool AMPSかESI） Software Codes”をクリックする。
3. OTAPライセンスキーをコピーする。

**OTAPソフトウェア　トラブルシューティングvol.1**

Q１　WindowsでOTAPソフトウェアが起動しない。

JAVAの最新版をインストールして、

OTAPzipフォルダ→OTAPフォルダ→OTAPファイルを開こうとしても開きません。

A１　次の手順を試してみてください。

1．otap.zipフォルダを開く。

2．otapフォルダをデスクトップなど任意の場所に出す。

3．otapフォルダを開いて、「otap」を開く。

Q２　OTAPソフトウェアをデスクトップに出して、開こうとしても開かない。

OTAPソフトウェアだけをフォルダから出すと（例えばデスクトップ）開きません。

A２　ショートカットを作成してください。

OTAPソフトウェアをOTAPフォルダに戻して、右クリックして任意の場所にWindowsならば「ショートカットの作成」、Macならば、「エイリアスの作成」を行ってください。

Q４　毎回、初期設定をしなければならない。また、データが保存されていない。

A3　zipフォルダからOTAPフォルダを任意の場所に保存して使用してください。

Q４　JAVAをインストールしたけれど、OTAPが起動しない。

A４　稀なケースですが、JAVAのビット数の違いかもしれません。

<https://www.java.com/ja/download/faq/java_win64bit.xml#verify%20browser>

の

**32ビット版と64ビット版のどちらのブラウザを使用しているかの確認**

をご確認いただき、適したビット数のOTAPをダウンロードすると良いと思います。

<https://innovativeotsolutions.com/software/download> >ドロップダウンリストからJAVA Bunbleを選択。

32ビットの場合、Download x86、64ビットの場合、Download x64をクリック。

Q5 認定通知が来てライセンスキーをOTAPに入れたが、レポートを出せない。

A5　COReにログインし、「Get your OTAP Software license & transfer keys＞select assessment tool（該当する評価ツールを選択）」で新しいライセンスキーをコピーし、OTAPにログイン後File＞Update licenseでペーストする手続きをしてください。

上記の説明書、トラブルシューティングを読んでも解決しない場合は、

OTAPソフトウェア問い合わせ担当；松澤ryohei.matsuzawa@gmail.comまでご連絡ください。